

学部・研究科等の教育に関する現況分析結果

1.	文学部	教育 1-1
2.	人文科学府	教育 2-1
3.	比較社会文化学府	教育 3-1
4.	教育学部	教育 4-1
5.	人間環境学府	教育 5-1
6.	実践臨床心理学専攻	教育 6-1
7.	法学部	教育 7-1
8.	法学府	教育 8-1
9.	法務学府	教育 9-1
10.	経済学部	教育 10-1
11.	経済学府	教育 11-1
12.	産業マネジメント専攻	教育 12-1
13.	理学部	教育 13-1
14.	理学府	教育 14-1
15.	数理学府	教育 15-1
16.	システム生命科学府	教育 16-1
17.	医学部	教育 17-1
18.	医学系学府	教育 18-1
19.	医療経営・管理学専攻	教育 19-1
20.	歯学部	教育 20-1
21.	歯学府	教育 21-1
22.	薬学部	教育 22-1
23.	薬学府	教育 23-1
24.	工学部	教育 24-1
25.	工学府	教育 25-1
26.	芸術工学部	教育 26-1
27.	芸術工学府	教育 27-1
28.	システム情報科学府	教育 28-1
29.	総合理工学府	教育 29-1
30.	農学部	教育 30-1
31.	生物資源環境科学府	教育 31-1
32.	統合新領域学府	教育 32-1

統合新領域学府

I	教育水準	教育 32-2
II	質の向上度	教育 32-5

I 教育水準（分析項目ごとの水準及び判断理由）

1. 教育の実施体制

[判定]

期待される水準にある

[判断理由]

「基本的組織の編成」については、ユーザー感性学（大学院修士課程のみ）とオートモーティブサイエンス（大学院修士課程及び博士後期課程）の2専攻から編成されている。ユーザー感性学専攻には、感性を基盤とする人間理解の上に立って感性価値の創造を推進する大学院として、感性科学コース、感性コミュニケーションコース、感性価値クリエーションコースが設置されている。オートモーティブサイエンス専攻には、自動車と先端技術、自動車と人間や社会、自動車と環境・エネルギーなどの先端的で複合的な課題を解明し、新しい自動車社会を創造する大学院として、先端材料科学分野、ダイナミクス分野、情報制御学分野、人間科学分野、社会科学分野が設置されている。専任教員数は、ユーザー感性学専攻 19 名、オートモーティブサイエンス専攻 15 名、合計 34 名である。「科学的な知の統合と創造」に取り組んでいくために、専任教員と異なる専門領域を持つ学内教員や他の国公立大学の教員及び企業等の外部講師も多数参画している。入学定員は、ユーザー感性学修士課程 30 名、オートモーティブサイエンス専攻修士課程 21 名、博士後期課程 7 名である。修士課程では一般選抜試験、社会人特別選抜試験、外国人を対象とした外国人留学生特別選抜試験、博士後期課程では一般選抜試験、社会人特別選抜試験、外国人を対象とした外国人留学生特別選抜試験（4月・10月入学の2回実施）等、多様な入学者選抜試験がそれぞれ実施されているなどの優れた取組を行っていることから、期待される水準を上回ると判断される。

「教育内容、教育方法の改善に向けて取り組む体制」については、教育上の課題は、学府教授会、学府長・専攻長会議、各専攻の専攻運営会議、入試WG及び教務WGにて扱われている。学府教授会は、学年歴の策定、入学試験の実施、学位授与方針、研究生の受入れ、奨学金の取扱い方針決定等、学府に共通する課題を協議している。ファカルティ・ディベロプメント（FD）は、各専攻において計画し、平成21年度は専攻内における「学問分野の統合」を図ることを念頭に実施しているなどの相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。

以上の点について、統合新領域学府の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、教育の実施体制は、統合新領域学府が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

2. 教育内容

[判定]

期待される水準にある

[判断理由]

「教育課程の編成」については、専攻共通科目、コース専門科目（ユーザー感性学専攻）あるいは分野専門科目（オートモーティブサイエンス専攻）が開講されており、修了必要単位は、ユーザー感性学専攻修士課程 36 単位、オートモーティブサイエンス専攻修士課程 38 単位、オートモーティブサイエンス専攻博士後期課程 15 単位である。両専攻とも修士（あるいは博士）論文の審査及び最終試験に合格することを修了要件とし、当該学府の目的に照らして十分検討された編成となっているなどの優れた取組を行っていることから、期待される水準を上回ると判断される。

「学生や社会からの要請への対応」については、現代社会が求める人材像を把握するために民間企業へのニーズ調査を行い、求められる人材として、ユーザー感性学専攻についてはこれまでの専門知識に加え、表現力・対話力・共感力・発想力・構想力・チーム協働力・実践力といった総合的な能力を有した人材、オートモーティブサイエンス専攻については自動車に対する複眼的な視野を磨き、柔軟な思考と応用力のある専門性を兼ね備えた人材や、実践的な専門性を体得した人材がそれぞれ挙げられた。当該学府では、これらの社会ニーズに十分に応えるため、高度な専門知識を修得する講義科目のみならず、社会との連携により実践的な知識を修得する演習科目を充実させ、複眼的な視野を磨くための指導制度を導入し、また、社会人学生が就学し易い環境を整備しているなどの相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。

以上の点について、統合新領域学府の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、教育内容は、統合新領域学府が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

3. 教育方法

[判定]

期待される水準にある

[判断理由]

「授業形態の組合せと学習指導法の工夫」については、高度な専門的知識を教授するだ

けでなく、実践的な知識を修得するためのインターンシップやフィールドワーク等授業形態上の特色を取り入れながら、各専攻における学問の特性を重視して、授業科目が配置されている。特に、高度な知識を教授する講義科目と実践的な知識を教授する「ユーザー感性学 PTL (プロジェクトチーム演習)」や「インターンシップ」などの演習科目を積極的に組み合わせることによって、全体として特徴ある教育が実現している。教育課程の編成の趣旨に沿って適切なシラバスが作成され、活用されている。研究指導に関しては、学生一人ひとりの興味・関心・進路に応じたきめ細かな指導が適切に行われているなどの優れた取組を行っていることから、期待される水準を上回ると判断される。

「主体的な学習を促す取組」については、学生の自主的な学習を促すために、シラバスに自主学習に有用な情報を記載して公開するとともに、大学院生室が整備されている。また、新入生オリエンテーションを開催し、当該学府や各専攻の特徴等を学生に説明し、学生が今後当該学府各専攻において展開する教育研究活動の動機付けを行っている。併せて履修ガイダンスを行い、当該学府における教育研究活動にスムーズに取り組んでいくことができるよう、授業科目の体系や履修方法、修了要件等について説明しているなどの相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。

以上の点について、統合新領域学府の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、教育方法は、統合新領域学府が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

4. 学業の成果

[判定]

期待される水準にある

[判断理由]

「学生が身に付けた学力や資質・能力」については、平成 21 年度の単位修得状況は、修士課程 96.3%、博士後期課程 100% であり良好である。休学率は、修士課程 1.5%、博士後期課程 0% と低い。講義等を通じて様々な専門的知識を修得するばかりでなく、専門的知識と実務的知識を統合させ、社会の変化に対応し得る実践的で高度な知識へと再編成していく能力も併せて養成されているなどの相応な成果があることから、期待される水準にあると判断される。

「学業の成果に関する学生の評価」については、学生の授業アンケートの結果では学生は到達度や満足度について高く回答しており、「感性」や「自動車」に係る専門的知識を着実に修得し、自らが「知の統合と創造」を成し得る基盤が醸成されている。さらに、ユーザー感性学 PTL やインターンシップなど実践的な演習科目を通じて、実践的な知識も修得

されているなどの相応な成果があることから、期待される水準にあると判断される。

以上の点について、統合新領域学府の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、学業の成果は、統合新領域学府が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

5. 進路・就職の状況

[判定]

判定しない

[判断理由]

「卒業（修了）後の進路の状況」については、いまだ修了生を出していないため、卒業後の進路状況を判断できる状態にないことから、段階判定は行わない。

「関係者からの評価」については、いまだ修了生を出していないため、卒業後の進路状況を判断できる状態にないことから、段階判定は行わない。

以上の点について、いずれの観点も「段階判定は行わない」との判断を行ったことから、進路・就職の状況は「判定しない」こととする。

II 質の向上度

1. 質の向上度

[判定]

相応に改善、向上している

[判断理由]

「相応に改善、向上している」と判断された事例が1件であった。